




**Microsoft System Center 2012 Virtual
Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller
Integration バージョン 1.0.1
インストールガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 11

Rev. A00

目次

1 Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について.....	4
2 DLCI アプライアンスセットアップ.....	6
ユーザー – 役割と特権.....	6
アプライアンスで使用されるポート.....	7
3 アプライアンスのインストール.....	9
管理システムのシステム要件.....	9
アプライアンスのダウンロード.....	10
アプライアンスのセットアップ.....	11
統合ゲートウェイの変更.....	13
統合ゲートウェイの修復.....	13
資格情報の変更.....	13
4 SC2012 VMM 用 DLCI のアップグレード.....	15
Service Pack のアップデートについて.....	15
アプライアンスの Service Pack のダウンロード.....	15
Service Pack アップデートの前提条件.....	15
Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー.....	16
リポジトリ URL 情報の入力.....	16
Service Pack アップデートのインストール.....	16
5 アプライアンスのアンインストール.....	18
統合ゲートウェイの削除.....	18
アプライアンスの削除.....	18
その他のアンインストール手順.....	18
アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除.....	18
DLCI アプリケーションプロファイルの削除.....	19
6 デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	20

Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration について

Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager (SC2012 VMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) は、ハードウェア設定を可能にし、Dell サーバーでのハイパーバイザー導入プロセスをシンプル化して改善するソリューションを提供します。このプラグインは、Lifecycle Controller 搭載の Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) のリモート導入機能を使用します。

Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration を使用することにより、次の操作が可能になります。

- 未割り当ての Dell サーバーの自動検出 – 工場から出荷された Dell サーバーをネットワークに接続し、サーバーの電源を投入してからプロビジョニングサーバーの詳細を入力することによって、サーバーを自動的に検出されます。

アプライアンスによって検出されたサーバーは、未割り当てサーバーとして認識され、これらのサーバーにハイパーバイザーの導入を行うことができます。

- 未割り当て Dell サーバーの手動検出 – 第 11、12、および 13 世代の PowerEdge サーバーを検出し、仮想環境にサーバーを導入します。
- 検出されたサーバーのインベントリの表示 – Dell サーバーに関する重要なインベントリ詳細が表示されます。
- サーバーコンプライアンスのチェック – Dell サーバーが対応していることを確認します。

Dell サーバーのコンプライアンス - アプライアンスで使用可能な機能を使用するには、Dell サーバーに必要なバージョンの iDRAC、Lifecycle Controller (LC)、および BIOS があります。

アプライアンスは、上記のソフトウェアの必要なバージョンがあるかどうかをチェックし、それらの必要なバージョンがある場合は、サーバーが準拠していると思なされます。

- ゴールデン設定とも呼ばれる理想的なサーバー設定の準備 – 仮想環境に導入されるサーバーにこの設定を複製します。
 - 起動順序と BIOS に対するゴールデン設定を編集および変更します。
 - RAID のための専用ホットスペア (DHS) 戦略をカスタマイズします。
- プロファイルとテンプレートを作成および維持します。
- Microsoft Windows プレインスツール環境 (WinPE) のカスタマイズ – 最新の Dell OpenManage Deployment Toolkit (DTK) ドライバで、カスタマイズされた WinPE イメージを準備します。
- 工場から出荷された最新ドライバパック同梱の最新サーバーにおいて、LC ドライバインジェクション機能を活用します。

Lifecycle Controller (LC) のドライバインジェクション機能を使用した、または使用しないハイパーバイザーの導入 – アプライアンスから、最適サーバー設定に基づいたハイパーバイザーの導入を行います。

- DLCI コンソールから iDRAC コンソールを起動してインベントリ情報を表示し、トラブルシューティングを行います。
- ジョブの情報の表示 – アプライアンスで実行されたさまざまなジョブに関して記録された情報を表示します。

Microsoft System Center Virtual Machine Manager についての情報は、Microsoft の文書を参照してください。

この文書には、DLCI アプライアンスのインストールに必要な前提条件と対応ソフトウェアに関する情報が記載されています。DLCI アプライアンスのリリース日から長期間経過した後でこのバージョンの DLCI アプライアンスをインストールしている場合は、dell.com/support/home で本書のアップデートバージョンの有無をチェックしてください。

DLCI アプライアンスセットアップ

DLCI アプライアンスのコンポーネントは次のとおりです。

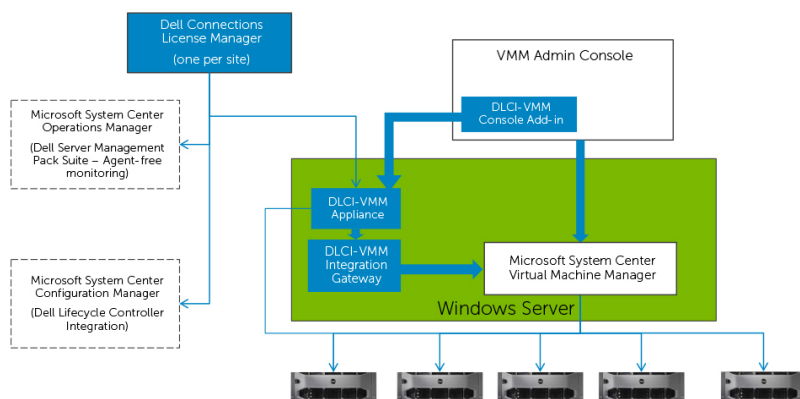
- Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) 仮想マシン。アプライアンスとも呼ばれます。
- Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager (SC2012 VMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) 統合ゲートウェイ。統合ゲートウェイとも呼ばれます。

統合ゲートウェイは、Windows サーバー上で動作するサービスです。アプライアンスは、このゲートウェイを使用して SC2012 と通信します。統合ゲートウェイはまた、DLCI が DTK、ISO、WINPE イメージなどを保存するステージングエリアを提供します。

- Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager (SC2012 VMM) 用 Dell Lifecycle Controller Integration (DLCI) コンソールアドイン。DLCI コンソールアドインとも呼ばれます。

前提条件として、Dell Connections License Manager のインストールが必要です。

コンポーネントおよびその他のソフトウェアでの DLCI アプライアンスセットアップ。



ユーザー — 役割と特権

DLCI アプライアンスコンポーネントおよびその他ソフトウェアによって必要とされるユーザーは次のとおりです。

役割	DLCI アプライアンス管理者	統合ゲートウェイサービスアカウント	統合ゲートウェイコントリビュータアカウント	Dell Connections License Manager 管理者またはオペレータ
特性	アプライアンス固有のユーザー（管理者）	このアカウントの特性は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 有効な <ドメイン> ユーザー。 統合ゲートウェイサーバーにアクセスするためのローカル管理者権限 Dell Connections License オペレータに追加されている VMM 管理者権限 	統合ゲートウェイサーバーにアクセスするためのローカル管理者権限を持つ有効な <ドメイン> ユーザー。	
DLCI アプライアンスコンポーネントアクセス	管理コンソール DLCI アプライアンス	統合ゲートウェイ		
機能（明示的に記載されていない限り、リストされているものの作成、表示、編集、削除するためのアクセス権を持つ）	<ul style="list-style-type: none"> セットアップと設定 アクティビティログ 統合ゲートウェイのダウンロード、 コンソールアドイン（DLCI アプライアンスユーザーのすべての機能）ライセンスのダウンロードリンク / 起動 	（可視的な機能なし）		

アプライアンスで使用されるポート

これらのポートは、アプライアンスのさまざまなコンポーネントによって使用されます。ファイアウォールの例外リストにこれらのポートを追加してください。

コンポーネント	プロトコル	デフォルトポート	ポート設定の変更箇所
アプライアンス (アプライアンスポート)	HTTPS	443	設定不可能
Dell Connections License Manager ウェブ コンソール URL	HTTP	8544	設定不可能
Dell Connections License Manager ウェブ サービス URL	HTTP	8543	設定不可能
統合ゲートウェイ	HTTPS	8455	統合ゲートウェイのインストール中に設定可能。
自動検出	HTTP	4433	設定不可能
iDRAC – これらのポートは、iDRAC が統合ゲートウェイによって作成された CIFS 共有にアクセスできるように有効化されています。	HTTPS	135 から 139、および 445	設定不可能

アプライアンスのインストール

アプライアンスをインストールするには、次の手順を実行します。

1. システム要件をチェックして確認します。詳細に関しては[管理システムのシステム要件](#)を参照してください。
2. アプライアンスをダウンロードします。詳細に関しては[アプライアンスのダウンロード](#)を参照してください。
3. アプライアンスをセットアップします。詳細に関しては[アプライアンスのセットアップ](#)を参照してください。

管理システムのシステム要件

管理システムとは、アプライアンスとそのコンポーネントがインストールされているシステムです。

- アプライアンスの要件：
 - Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2012 がインストールされており、Hyper-V 役割が有効になっている。
- 統合ゲートウェイの要件：
 - Windows Server 2012 R2 または Windows Server 2012 がインストールされている。
 - SC2012 VMM R2 UR3 コンソールまたは SC2012 VMM SP1 UR6 コンソール以降がインストールされている。
- * SC2012 VMM R2 および SC 2012 VMM SP1 コンソールに共通のシステム要件：
 - Microsoft .NET バージョン 4.5 がインストールされている。
 - HTTP Activation がアクティブ化されている。
 - IIS 7.5 以降がインストールされている。
 - IIS の Windows 認証が有効になっている。
 - IIS の URL 承認がインストールされている。
 - IIS 6 メタベース互換性が有効になっており、そこで IIS 6 WMI 互換性および IIS 6 スクリプトツールが有効になっている。
- * SC2012 VMM R2 コンソール固有のシステム要件：
 - SC2012 VMM SP1 から SC2012 VMM R2 にアップグレードしている場合は、Windows PowerShell 4.0 へのアップグレードが必要です。
 - Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.1 がインストールされている。

* SC2012 VMM SP1 コンソール固有のシステム要件：

- SC2012 VMM SP1 アップデートロールアップ 5 以降にアップデートしている場合は、以下の点を考慮してください。SC2012 VMM コンソールへのアドインのインポート時にコンソールがクラッシュする場合があります。この問題についての情報と解決方法については、サポート技術情報、support.microsoft.com/kb/2785682 の問題 5 を参照してください。このアップデートは、インストールされているアップデートロールアップのバージョンに関わらず、実行するようにしてください。
- Windows アセスメント & デプロイメントキット (ADK) 8.0 がインストールされている。
- 組織の PowerShell 実行ポリシーのガイドラインを検討し、ローカルマシンに有効な実行ポリシーが RemoteSigned として設定され、**統合ゲートウェイサービスアカウント**で Unrestricted として設定されていることを確認します。ポリシー設定の詳細に関しては、次の MSDN の記事を参照してください。

* **PowerShell 実行ポリシー** : technet.microsoft.com/en-us/library/hh847748.aspx

* **PowerShell グループポリシー** : technet.microsoft.com/library/jj149004

• 管理ポータル要件：

- セットアップと設定

* Dell Connections License Manager バージョン 1.1 以降がインストールされており、ドメイン内で使用可能。License Manager サーバーが起動され、実行されている。

- 統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザーが、**管理者** ユーザーまたは **オペレータ** ユーザーのどちらかの Dell Connections License Manager ユーザーグループのメンバーである。
- ポート番号 8543 および 8544 がファイアウォールの例外リストに含まれている。
- アプライアンス関連のライセンスが Dell Connections License Manager にインポートされている。ライセンスの購入に関するサポート情報については、『Dell Connections License Manager インストールガイド』を参照してください。

Dell Connections License Manager マニュアルを表示するには、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement にアクセスしてから **Dell Connections License Manager** を選択します。

- Internet Explorer 9 以降が使用できる。
- Mozilla Firefox 30 以降が使用できる。
- Google Chrome 23 以降が使用できる。

アプライアンスのダウンロード

SC2012 VMM 用 DLCI のインストールおよびセットアップを行うには、アプライアンス、統合ゲートウェイ、コンソールアドインの各コンポーネントをダウンロードしてインストールする必要があります。
アプライアンスのダウンロード：

1. SC2012 用 DLCI を使用するためのライセンスがある場合は、デジタル資格情報ポータルから SC2012 VMM 用 DLCI をダウンロードし、ライセンスがない場合には、デルサポートチームに有効なライセンスについてお問い合わせください。

アプライアンスのダウンロード、インストール、およびセットアップが終了したら、管理ポータルから統合ゲートウェイとコンソールアドインのダウンロードとインストールを行うことができます。

2. ダウンロードファイルを解凍して、.VHD ファイルとマニュアルを表示します。

アプライアンスのセットアップ

始める前に、次の点を確認してください:

- **仮想スイッチ** が設定済みで使用可能である。
- アプライアンスのインストールに進む前に、次の情報を確認してください。
 - SC2012 VMM がセットアップされているシステムの FQDN およびユーザー資格情報。
 - Dell Connections License Manager がセットアップされているシステムの FQDN、ユーザー資格情報、ポート番号。
 - ステージングサーバーの場所。

アプライアンスをセットアップするには、次の手順を実行します。

1. **Windows Server** の **Hyper-V マネージャー** で、**Hyper-V マネージャー** メニューから **操作** → **新規** → **仮想マシン** を選択します。
2. **開始する前に** で **次へ** をクリックします。
3. **名前と場所の指定** で、仮想マシンの名前を指定します。仮想マシンを別の場所に保存するには、**仮想マシンを別の場所に格納する** を選択し、**参照** をクリックして、新しい場所をスキャンします。
4. **メモリの割り当て** で、必要なメモリを割り当てます。最小 4096 MB が必要です。
5. **ネットワークの構成** の **接続** から、使用するネットワークを選択し、**次へ** をクリックします。
6. **仮想ハードディスクの接続** で **既存の仮想ハードディスクを使用する** を選択し、アプライアンス .VHD ファイルがあるの場所をスキャンし、その .VHD ファイルを選択します。
7. **概要** で指定した詳細を確認し、**完了** をクリックします。
仮想マシンを作成した後は、アプライアンスを設定する必要があります。
8. プロセッサ計数値を 2 に設定します。プロセッサ計数はデフォルトで 1 に設定されています。プロセッサ計数を設定するには、アプライアンスを右クリックし、**設定** を選択します。**設定** で **プロセッサ** を選択し、**論理プロセッサの数** を 2 に設定します。
9. **Hyper-V マネージャー** メニューで **DLCI 仮想マシン** を選択し、次の手順を実行します。
 - a. **操作** → **開始** を選択します。
 - b. **操作** → **接続** を選択します。
10. アプライアンスが起動したら、次の手順を実行します。
 - a. **localhost login** に **admin** と入力します。
 - b. **Enter new Admin password** にパスワードを入力します。
 - c. **Please confirm new Admin password** にパスワードを再入力し、**Enter** を押して続行します。
 - d. **DLCI アプライアンス** で **ネットワークの設定** を選択し、**Enter** を押します。
 - e. **アクションの選択** で **DNS 設定** を選択し、**Enter** を押します。
 - f. **DNS 設定** の **ホスト名** にホスト名を入力し、**OK** を押します。
たとえば、**hostname.domain.com** などです。
 - g. **アクションの選択** で **保存して終了** を押します。
11. DHCP と DNS が設定されているシステムで、DNS のエントリと IP アドレスが存在することをチェックします。
12. DNS のエントリをチェックします。
アプライアンスから、管理ポータルの URL をメモします。

13. 統合ゲートウェイのコントリビュータアカウントを使用して、統合ゲートウェイをインストールする予定のシステムにログインします。

ウェブブラウザで、管理者ポータル URL : <IP Address or hostname> (例 : https://dlciforvmm) にアクセスします。

管理ポータルにログインすることにより、コンポーネントの統合ゲートウェイとコンソールアドインをダウンロードできます。

初めて管理者ポータルにアクセスしている場合、管理者ポータルにログインするときに **セットアップと設定** ウィザードが表示されます。

14. **セットアップと設定** の **ようこそ** で、**次へ** をクリックします。

15. **ダウンロードとインストール** で次の操作を行い、**次へ** をクリックします。

- SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイのインストール** で **インストーラのダウンロード** をクリックし、インストーラを保存場所に保存します。
- SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ** インストーラを実行します。
- SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイの **ようこそ** ページで、**次へ** をクリックします。
- ライセンス契約** で、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択して **次へ** をクリックします。
- ライセンス : オープンソースソフトウェア** で、オープンソース関連の情報を参照し、**次へ** をクリックします。
- ウェブサービス設定** で、統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザーとポート番号の詳細を入力します。ステージングサーバーの場所を変更するには、**共有フォルダの選択** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。

アプライアンスと統合ゲートウェイ間での通信のためのポートを割り当てます。有効になるデフォルトポートは 8455 ですが、要件に応じて別のポート番号を設定することもできます。

統合ゲートウェイのサービスユーザーアカウントの **実行ポリシー** は **制限なし** に設定されています。

- 宛先フォルダ** にはデフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックして新しい場所をスキャンし、**次へ** をクリックします。
- プログラムインストールの準備完了** で、**インストール** をクリックします。

統合ゲートウェイのインストール中、次の共有ディレクトリが作成されます。

- DTK
- LCDriver
- ISO
- OMSA
- WIM

- インストールが完了したら、**終了** をクリックします。

16. **セットアップと設定** の **サーバー詳細** で、次の情報を入力してから **次へ** をクリックします。

- SC2012 VMM サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN) と、SC2012 VMM サーバーの管理者ユーザー資格情報。

SC2012 VMM サーバーの管理者ユーザーは、SC2012 VMM のサービスアカウントにしないようにしてください。

- 統合ゲートウェイがインストールされているサーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)、統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザー詳細、統合ゲートウェイの適切なポート番号 (デフォルトのポート番号は 8455)。
- Dell Connections License Manager の情報。ウェブコンソール URL は、<IP アドレスまたはホスト名>:8543/ 形式で入力します。

Dell Connections License Manager のデフォルトポート番号は 8543 および 8544 です。

例：ウェブコンソールの URL は <http://hostname.domain.com:8544/>、ウェブサービスの URL は <http://hostname.domain.com:8543/> になります。

17. **適用** をクリックして、登録プロセスを完了します。
18. **オプションの設定とインストール** の **コンソールアドインのインストール** で、**インストーラのダウンロード** をクリックし、インストーラファイルを必要な場所に保存します。
19. コンソールアドインのインストールについては、**で SC2012 VMM 用 DLCI コンソールアドインアドインでの作業を参照してください。** in the *Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Manager 用 Dell Lifecycle Controller Integration ユーザーズガイド*.

統合ゲートウェイの変更

このオプションで変更できるのはパスワードのみです。ユーザー名やポート情報を編集することはできません。

SC2012 VMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

統合ゲートウェイを変更するには、次の手順を実行します。

1. **SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ インストーラ** を実行します。
2. **プログラムメンテナンス** で **変更** を選択してから、**次へ** をクリックします。
3. パスワードを変更して、**次へ** をクリックします。
4. **プログラムの変更** ダイアログボックスで **インストール** をクリックします。
5. 変更タスクが完了したら **終了** をクリックします。

統合ゲートウェイの修復

統合ゲートウェイを修復するには、次の手順を実行します。

1. **SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ インストーラ** を実行します。
2. **プログラムメンテナンス** で **修復** を選択し、**次へ** をクリックします。
3. **修復の準備完了** で、統合ゲートウェイユーザーアカウントとパスワードを入力し、**インストール** をクリックします。
4. 修復タスクが完了したら、**終了** をクリックします。

資格情報の変更

SC2012 VMM 管理者の資格情報および統合ゲートウェイの資格情報は、管理ポータルから変更することができます。これは、連続するアクティビティであり、まず最初に統合ゲートウェイの資格情報を変更し、それから SC2012 VMM 管理者の資格情報を変更します。

統合ゲートウェイ管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが統合ゲートウェイインストーラを実行し、変更オプションを選択することによって、パスワードをすでに変更済みであることが前提条件となります。

SC2012 VMM 管理者ユーザーの資格情報を変更するには、ユーザーが Active Directory 内でパスワードを変更済みであることが前提条件となります。

統合ゲートウェイまたは SC2012 VMM の管理者の資格情報を変更するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータルで、**登録** をクリックします。
2. **SC2012 VMM の DLCI 統合ゲートウェイ** の下の **登録** で、**資格情報の変更** をクリックします。
3. パスワードをアップデートして、**保存** をクリックします。

SC2012 VMM 用 DLCI のアップグレード

SC2012 用 DLCI のインストールおよびセットアップ後、SC2012 用 DLCI のサービスパックアップデートが使用可能である場合、この機能を使用してサービスパックアップデートをインストールすることができます。

Service Pack のアップデートについて

SC2012 VMM 用 DLCI がリリースされた後、既存のアプライアンスへのアップグレードまたは拡張機能として使用可能な、重要な欠陥の修正または機能の追加を共有する必要があります。

- Service Pack ファイルは、任意の HTTP サーバーに配置して、Service Pack のファイルを使用してアップデートを行なうことができます。
- これらの Service Pack を段階的に適用することができます。ただし、一度適用した後に元に戻すことはできません。
- この Service Pack は累積的です。つまり、最新の Service Pack では以前のすべての修正からの修正が含まれています。

SC2012 VMM 用 DLCI では、次の 2 タイプの Service Pack が提供されています。

- Appliance Service Packs
- Infrastructure Service Packs

アプライアンスの Service Pack のダウンロード

前提条件: デジタル資格情報から Service Pack をダウンロードするには、有効なサブスクリプションが必要です。

アプライアンスの Service Pack をダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. URL (dell.com/support/licensing/us/en/19/Lkm/Index) からデジタル資格情報ポータルにログインします。
2. **使用可能なソフトウェアのダウンロード** を選択し、Dell Lifecycle Controller Integration for Microsoft System Center Virtual Machine Manager を選択して、**表示** をクリックします。
3. Service Pack をダウンロードします。

Service Pack アップデートの前提条件

アップグレードを開始する前に、次の前提条件を完了します。

1. 実行中のジョブがないことを確認します。実行中のジョブがある場合、ジョブが完了するまで待ちます。

2. SC2012 VMM 用 DLCI 仮想マシンをバックアップします。詳細に関しては、Microsoft のマニュアルを参照してください。

Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー

ダウンロードした Service Pack を配置するには、リポジトリが必要です。
リポジトリを準備するには、次の手順を実行します。

1. サービスパックファイルを直接 HTTP サーバーに配置します。
2. ダウンロードした Service Pack をダブルクリックして、指定した場所にファイルを解凍します。
3. HTTP サイトに解凍されたファイルをコピーします。

リポジトリ URL 情報の入力

URL 情報を入力するには、次の手順を実行します。

1. **DLCI 管理ポータル – SC2012 VMM** で、**設定** → **サービスパックアップデート** を選択します。
2. **リポジトリ URL** に、**http://<servername>:<portname>/<repository path>** の形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシサーバー詳細を入力してから、**保存** をクリックします。

Service Pack アップデートのインストール

リポジトリの URL 情報が使用可能であり、**Service Pack アップデート** ページに含まれていることを確認します。詳細に関しては、「[リポジトリ URL 情報の入力](#)」を参照してください。

Service Pack アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Service Pack を HTTP リポジトリ内に置き、**DLCI 管理ポータル – SC2012 VMM** → **設定** → **Service Pack アップデート** で、**アップデートのチェック** をクリックします。
SC2012 VMM 用 DLCI については、既存のバージョンとリポジトリ内で使用可能なサービスパックバージョンが表示されます。

必要に応じて、リリースノートを表示することができます。

2. **適用** をクリックします。
アップグレード処理が完了したら、SCVMM コンソール用 DLCI を閉じて、Internet Explorer のキャッシュをクリアします。

インストール後に、次のタスクを実行します。

Service Pack のアップデートを確認するには、次の手順を実行します。

1. 管理ポータルの **バージョン情報** で、Service Pack のアップデートバージョンの詳細を表示します。
2. 管理ポータルの詳細に関しては、**設定** → **ログ** を選択します。
3. **upgradelogs** ディレクトリで Service Pack のアップグレードのログファイルを表示またはダウンロードするには、**<Service Pack バージョン番号>** ディレクトリ（例えば、1.0.1.590 ディレクトリ）を選択して表示するか、Service Pack のアップグレードのログファイルをダウンロードします。
4. Service Pack のアップデートに失敗した場合は、**dell.com/support** にお問い合わせください。
Service Pack のアップデートが完了したら、統合ゲートウェイをアップグレードする必要があります。

統合ゲートウェイをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. 管理者ポータルから、統合ゲートウェイのインストーラをダウンロードします。
2. **SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ** インストーラを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、**はい** をクリックします。
4. SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイの ようこそ ページで、**次へ** をクリックします。
5. **ライセンス契約** で、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択して **次へ** をクリックします。
6. **ライセンス：オープンソースソフトウェア** で、オープンソース関連の情報を参照し、**次へ** をクリックします。
7. **ウェブサービス設定** で、統合ゲートウェイのサービスアカウントユーザーとポート番号の詳細を入力します。ステージングサーバーの場所を変更するには、**共有フォルダの選択** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。

アプライアンスと統合ゲートウェイ間での通信のためのポートを割り当てます。有効になるデフォルトポートは 8455 ですが、要件に応じて別のポート番号を設定することもできます。

統合ゲートウェイのサービスユーザーアカウントの **実行ポリシー** は **制限なし** に設定されています。

8. **宛先フォルダ** にはデフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックして新しい場所をスキャンし、**次へ** をクリックします。
9. **プログラムインストールの準備完了** で、**インストール** をクリックします。
10. インストールが完了したら、**終了** をクリックします。

アプライアンスのアンインストール

アプライアンスをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. 統合ゲートウェイを削除します。詳細については、[統合ゲートウェイの削除](#)を参照してください。
2. アプライアンスを削除します。詳細については、[アプライアンスの削除](#)を参照してください。
3. アプライアンス固有のアカウントを削除します。詳細については、[その他のアンインストールタスク](#)を参照してください。

統合ゲートウェイの削除

統合ゲートウェイをインストールしたシステムから統合ゲートウェイを削除する必要があります。統合ゲートウェイをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルで **プログラム** → **プログラムのアンインストール** をクリックします。
2. **SC2012 VMM 用 DLCI 統合ゲートウェイ** を選択し、**アンインストール** をクリックします。

アプライアンスの削除

アプライアンスを削除するには、次の手順を実行します。

1. **Windows サーバー** の **Hyper-V マネージャー** でアプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。
2. アプライアンスファイルを右クリックし、**オフにする** をクリックします。

その他のアンインストール手順

これには、アプライアンス固有の **RunAsAccounts** の削除、および **DLCI アプリケーションプロファイル** の削除が含まれます。

アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除

アプライアンス固有の RunAsAccounts を SC2012 VMM コンソールから削除するには、次の手順を実行します。

1. SC2012 VMM コンソールで、**設定** をクリックします。
2. **RunAsAccounts** をクリックします。
3. アカウントのリストから、アプライアンス固有のアカウントを削除します。
アプライアンス固有のアカウントには、先頭に **Dell** が付いています。

DLCI アプリケーションプロファイルの削除

SC2012 VMM コンソールで、ライブラリ → プロファイル → アプリケーションプロファイル を選択し、**DLCI-VMM アドイン登録プロファイル** を削除します。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- 次のリンクを使用します。
 - すべてのエンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/softwaresecuritymanuals
 - エンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/openmanagemanuals
 - リモートエンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/esmmanuals
 - OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル - dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
 - Serviceability Tools マニュアル - dell.com/serviceabilitytools
 - クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/clientsystemsmanagement
 - OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル - dell.com/connectionsclientsystemsmanagement
- Dell サポートサイトにアクセスします。
 - a. dell.com/support/home にアクセスします。
 - b. **全般サポート** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
 - c. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - **エンタープライズシステム管理**
 - **リモートエンタープライズシステム管理**
 - **Serviceability Tools**
 - **クライアントシステム管理**
 - **接続クライアントシステム管理**
 - d. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。